

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 網嶋 耕二
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日

上場取引所 東

TEL 086-246-0309

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	17,862	—	3,108	—	3,124	—	1,567	—
20年3月期第2四半期	16,258	20.2	3,164	10.4	3,171	10.8	1,736	15.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	138.43	138.43
20年3月期第2四半期	153.51	153.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	28,972	23,971	82.7	2,116.42
20年3月期	27,498	22,933	83.4	2,027.42

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 23,971百万円 20年3月期 22,933百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	26.50	—	51.50	78.00
21年3月期	—	39.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,243	11.5	6,648	1.2	6,650	1.5	3,476	△2.3	306.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 11,388,685株 20年3月期 11,388,685株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 62,388株 20年3月期 76,901株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 11,323,708株 20年3月期第2四半期 11,311,883株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、3ページ「定性的情報・財務諸表」 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、記録的な資源高を背景とした企業収益の悪化に加え、米国発の金融危機の波及が懸念されるなど消費者心理はさらに冷え込み、景気の後退色を強めながら推移いたしました。

外食業界におきましては、原材料高を受けてメニュー価格の値上げの動きが広範にみられましたが、ガソリン高により特に郊外型レストランを中心に苦戦を強いられ、消費マインドの低迷により節約志向を反映した厳しい経営環境にありました。

このような中、当社グループは、中長期的に安定したチェーン拡大を支える人材の採用、育成、教育体制の充実に努めるとともに、外食による多業態運営戦略を軌道に乗せるべく、各業態の安定的出店及び新業態の実験、開発を継続してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営2店舗、サンマルクカフェ直営15店舗、FC1店舗、計16店舗、すし処函館市場直営4店舗、FC1店舗、計5店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営8店舗、広東炒飯店直営6店舗、実験中の表参道茶寮直営1店舗、神戸元町ドリア直営4店舗、また新たな切り口での喫茶ニーズを押し測るべく倉式珈琲店直営1店舗をそれぞれ出店し（当第2四半期連結累計期間出店数：直営44店舗、FC2店舗、計46店舗）、これにより当社グループ全業態の第2四半期連結累計期間末の合計店舗数は、直営店385店舗、フランチャイズ店155店舗、合計540店舗体制となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高178億62百万円、経常利益31億24百万円、当期純利益15億67百万円となりました。

事業部門別の業績等は次のとおりであります。

サンマルク事業部門売上高は21億92百万円、営業利益は8億4百万円となりました。

サンマルクカフェ事業部門売上高は74億71百万円、営業利益は12億59百万円となりました。

函館市場事業部門売上高は18億16百万円、営業利益は4億86百万円となりました。

バケット事業部門売上高は21億72百万円、営業利益は3億30百万円となりました。

鎌倉パスタ事業部門売上高は30億95百万円、営業利益は6億3百万円となりました。

サンマルクチャイナ事業部門売上高は6億96百万円、営業利益は80百万円となりました。

事業統括管理部門売上高は4億17百万円、営業損失は4億56百万円となりました。

(注) 当社は、平成20年4月1日付にて炒飯専門店の広東炒飯店事業を本格展開事業として会社分割することとし、当社100%子会社として㈱広東炒飯店を設立しております。なお、同社は平成20年7月1日付にて㈱サンマルクチャイナに商号変更しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が289億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億73百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は85億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億69百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出等に伴い現金及び預金が6億70百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は204億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億43百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が12億68百万円、敷金及び保証金が3億20百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は41億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億41百万円の減少となりました。これは未払法人税等が1億84百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、8億28百万円で前連結会計年度末と比較して5億77百万円の増加となりました。これはリース債務が5億35百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して10億37百万円増加して239億71百万円となりました。この結果、自己資本比率は82.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は22億38百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益が27億84百万円でその減少の主なものは法人税等の支払額14億92百万円であります。投資活動におきましては23億57百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出18億25百万円であります。財務活動におきましては5億58百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払額5億79百万円であります。これらの結果、当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して6億70百万円減少し、63億82百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

外食業界を取り巻く経営環境は、個人消費の低迷による厳しさもあり、当第2四半期累計期間の連結売上高、経常利益ともに当初計画を若干下回る水準で推移しております。下期におきましては、各業態における店舗サービスレベルの維持向上を目的とした体制の強化と販売促進活動の注力を両輪として諸施策を推進していく予定であります。今後の消費環境はさらに悪化し、厳しい経営環境となることが想定され、売上高の減少及び販売費及び一般管理費の負担を吸収しきれず、また、一部閉店店舗の減損損失により平成20年5月15日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,514	7,427	7,450	4,049	358 01
今回修正予想 (B)	37,243	6,648	6,650	3,476	306 97
増減額 (B-A)	△1,270	△779	△800	△572	△51 04
増減率 (%)	△3.3	△10.5	△10.7	△14.1	△14.3
前期実績	33,413	6,569	6,552	3,559	314 68

なお、事業部門別の業績予想は以下のとおりであります。

サンマルク事業部門におきましては、売上高46億24百万円（前期比10.9%増）、営業利益16億94百万円（同1.1%増）を見込んでおります。

サンマルクカフェ事業部門におきましては、売上高154億20百万円（前期比2.3%増）、営業利益26億54百万円（同7.7%減）を見込んでおります。

函館市場事業部門におきましては、売上高34億64百万円（前期比4.0%減）、営業利益10億12百万円（同11.2%減）を見込んでおります。

バケット事業部門におきましては、売上高43億18百万円（前期比3.2%増）、営業利益6億86百万円（同30.1%増）を見込んでおります。

鎌倉パスタ事業部門におきましては、売上高66億50百万円（前期比31.8%増）、営業利益12億85百万円（同32.3%増）を見込んでおります。

サンマルクチャイナ事業部門におきましては、売上高15億70百万円（前期比82.1%増）、営業利益2億15百万円（同83.0%増）を見込んでおります。

事業統括管理部門におきましては、売上高11億94百万円（前期比155.4%増）、営業損失9億円（前期営業損失7億39百万円）を見込んでおります。

(注) 当社は、平成20年4月1日付にて炒飯専門店の広東炒飯店事業を本格展開事業として会社分割し、当社100%子会社として(株)広東炒飯店（平成20年7月1日付、(株)サンマルクチャイナに商号変更）を設立しております。事業統括管理部門及びサンマルクチャイナ事業部門の前期比の数値は当該部門を当連結会計年度（平成21年3月期）をベースに遡及算出しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として先入先

出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。また、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,382,100	7,052,857
売掛金	1,581,072	1,650,933
商品	586	778
原材料	68,017	63,336
貯蔵品	62,863	62,658
その他	449,368	383,349
貸倒引当金	△13,049	△13,179
流動資産合計	8,530,960	9,200,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,051,483	8,782,528
土地	2,267,873	2,267,873
その他（純額）	714,922	327,467
有形固定資産合計	13,034,278	11,377,869
無形固定資産		
その他	91,990	97,110
無形固定資産合計	91,990	97,110
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,956,471	5,635,860
その他	1,358,894	1,187,277
投資その他の資産合計	7,315,366	6,823,137
固定資産合計	20,441,635	18,298,117
資産合計	28,972,596	27,498,852
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,051,492	1,091,288
未払金	1,375,427	1,360,995
未払法人税等	1,285,640	1,469,851
引当金	135,755	41,240
その他	324,306	350,311
流動負債合計	4,172,622	4,313,686
固定負債		
引当金	42,513	39,332
その他	786,261	212,116
固定負債合計	828,775	251,448
負債合計	5,001,397	4,565,135

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	19,343,498	18,347,470
自己株式	△174,477	△214,804
株主資本合計	23,938,998	22,902,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,200	31,072
評価・換算差額等合計	32,200	31,072
純資産合計	23,971,199	22,933,716
負債純資産合計	28,972,596	27,498,852

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	17,862,608
売上原価	4,142,174
売上総利益	13,720,434
販売費及び一般管理費	10,612,155
営業利益	3,108,278
営業外収益	
受取利息	4,818
受取配当金	3,259
受取賃貸料	54,505
為替差益	6,081
その他	7,627
営業外収益合計	76,292
営業外費用	
支払賃借料	46,698
持分法による投資損失	6,820
その他	6,939
営業外費用合計	60,458
経常利益	3,124,112
特別利益	
貸倒引当金戻入額	242
特別利益合計	242
特別損失	
固定資産除却損	86,023
投資有価証券評価損	12,074
減損損失	241,282
特別損失合計	339,380
税金等調整前四半期純利益	2,784,975
法人税、住民税及び事業税	1,308,700
法人税等調整額	△91,309
法人税等合計	1,217,390
四半期純利益	1,567,585

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,784,975
減価償却費	522,584
減損損失	241,282
その他の引当金の増減額 (△は減少)	97,696
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△130
受取利息及び受取配当金	△8,078
支払利息	1,387
為替差損益 (△は益)	△6,081
持分法による投資損益 (△は益)	6,820
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,074
固定資産除却損	86,023
売上債権の増減額 (△は増加)	69,861
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,694
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39,796
未払金の増減額 (△は減少)	94,046
その他	△132,188
小計	3,725,784
利息及び配当金の受取額	6,874
利息の支払額	△1,184
法人税等の支払額	△1,492,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,238,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,825,568
有形固定資産の売却による収入	12,524
無形固定資産の取得による支出	△4,923
投資有価証券の取得による支出	△178
その他	△539,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,357,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△735
自己株式の売却による収入	52,061
配当金の支払額	△579,053
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△558,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,081
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△670,757
現金及び現金同等物の期首残高	7,052,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,382,100

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは外食事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間において、海外売上高は10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		16,258,602 100.0
II 売上原価		3,859,406 23.7
売上総利益		12,399,196 76.3
III 販売費及び一般管理費		9,234,198 56.8
営業利益		3,164,997 19.5
IV 営業外収益		
1. 受取利息	5,133	
2. 受取配当金	1,933	
3. 受取賃貸料	42,417	
4. その他	6,944	56,429 0.3
V 営業外費用		
1. 支払賃借料	35,010	
2. 持分法による投資損失	3,324	
3. その他	11,423	49,758 0.3
経常利益		3,171,668 19.5
VI 特別利益		
貸倒引当金戻入益	104	104 0.0
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	53,557	
2. 減損損失	60,025	113,583 0.7
税金等調整前中間純利益		3,058,188 18.8
法人税、住民税及び事業税	1,321,800	
法人税等調整額	△129	1,321,670 8.1
中間純利益		1,736,517 10.7

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	3,058,188
減価償却費	383,371
減損損失	60,025
賞与引当金の増加額	53,492
役員賞与引当金の増加額	12,990
退職給付引当金の増加額	2,946
貸倒引当金の減少額	△6,082
受取利息及び受取配当金	△7,067
為替差損	4,694
固定資産除却損	53,557
売上債権の減少額	45,668
たな卸資産の増加額	△8,075
仕入債務の減少額	△55,346
未払金の減少額	△107,306
その他の増加額	△86,211
小計	3,404,846
利息及び配当金の受取額	5,320
法人税等の支払額	△1,625,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,784,274
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△100,090
投資有価証券の売却による収入	15,374
有形固定資産の取得による支出	△1,669,118
有形固定資産の売却による収入	12,237
無形固定資産の取得による支出	△562
その他の投資取得による支出	△585,070
その他の投資減少による収入	104,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,222,920

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)
区分	金額 (千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式取得による支出	△2,585
自己株式売却による収入	4,855
配当金の支払額	△344,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342,723
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,694
V 現金及び現金同等物の減少額	△786,063
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,031,131
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	6,245,067

(3) 仕入及び販売の状況

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

a. 部門別仕入実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
サンマルク	658,303	— %
サンマルクカフェ	1,578,060	—
函館市場	495,740	—
バケット	534,606	—
鎌倉パスタ	643,614	—
サンマルクチャイナ	148,316	—
事業統括管理	89,300	—
合計	4,147,942	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

b. 部門別販売実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
サンマルク	2,192,921	— %
サンマルクカフェ	7,471,157	—
函館市場	1,816,084	—
バケット	2,172,838	—
鎌倉パスタ	3,095,763	—
サンマルクチャイナ	696,653	—
事業統括管理	417,190	—
合計	17,862,608	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

c. 種類別販売実績

(単位：千円)

種類別 事業部門別	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
サンマルク	990,156	—	372,265	—	830,500	—	2,192,921	—
サンマルクカフェ	7,236,318	—	25,248	—	209,589	—	7,471,157	—
函館市場	1,311,378	—	209,450	—	295,256	—	1,816,084	—
バケット	2,127,707	—	3,143	—	41,988	—	2,172,838	—
鎌倉パスタ	3,046,821	—	—	—	48,941	—	3,095,763	—
サンマルクチャイナ	685,254	—	—	—	11,399	—	696,653	—
事業統括管理	409,086	—	—	—	8,104	—	417,190	—
合計	15,806,722	—	610,107	—	1,445,779	—	17,862,608	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。